

第8号 パークらぼ通信

公園拡張をきっかけとしたみんなで進める公園づくり



拡張予定地の一部開園。 開けてから変わったこと



2024年4月から一部整備後の拡張予定地の開放が始まりました！

2024年3月に一部開園を迎えた拡張予定地は、毎週日曜日と第2・第4木曜日に開放しています。これまでのイベント利用から、より日常利用がなされるようになってきました。近隣保育園の子どもたちが虫とりをしたり、わんちゃんのお散歩をしたりと、拡張予定地の中心となる草地の広場を中心に賑わいが見られます。

また玉川野毛町パークらぼ区民の会の皆さんも、今まで以上に拡張予定地を気にかけてくださり、お声を届けてくれています。

将来に向けて



100年先も地域に愛される公園を模索する取り組みは、まだまだ始まったばかり。これから工事が始まる公園利用や活動の拠点となる施設（以下、拠点施設）を期待するお声など、より具体的な将来イメージができつつあるように感じられます。本格オープンに向けて、今後も様々な経験を積み重ねていきます。



開放日は、私たちが お待ちしております



4月から公園開放等の業務や区民活動のサポート業務、日常管理（中間支援業務）を担っているのが、私たち「中間支援組織」の自然教育研究センター（CES）です。区民協働による公園づくりのイメージが定着しているためか、らぼプロジェクト活動に関する質問、開園に向けた工事の進捗状況に関する質問を多く受けます。開放日にはテントを立てて常駐し、このテントを青空ビジターセンターと位置づけて、みなさんのお越しをお待ちしています。



玉川野毛町公園拡張予定地の魅力を特徴づける、

住民による主体的な活動



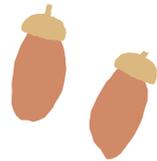
「らぼプロジェクト」は、区民が参画して公園の魅力を高めるパークらぼの取り組みにおける、区民企画の活動です。玉川野毛町公園パークらぼコンセプトブックに掲げられた理想的な公園像を実現するためにふさわしい活動が企画されて、今年は8つのチームが活動しています。

これまでは月に一回開放されていたアクティブDAY内の活動テーマとして位置付けられていましたが、今年から玉川野毛町パークらぼ区民の会が発足し、会の活動として位置づけられるようになりました。

どのような活動があるか、見てみましょう！

どんぐりプロジェクト 活動日：第1日曜午前

拡張予定地に唯一残った、どんぐりを落とすコナラの木に集い、苗木の育成と植樹、選択的除草・間伐等を行なっています。若い木と多様な生きものが育まれ、子どもが虫を追いかけ、循環型の暮らしと共にある雑木林を都会に蘇らせる活動をしています。ご自由に見学・ご参加ください。



キッズチーム 活動日：第1日曜午前、第2木曜午前

子どもたちが自然に親しんで自由に遊びを生み出せる遊び場を実施しています。他のプロジェクトとも連携し、拡張予定地だから出来る様々な体験と学びの場を子どもたちと楽しんでいます。この公園周辺の歴史やこれまでの取り組みを若い世代にも伝えるために絵本づくりも進めています。子どもの気持ちを持ち続けている方はどなたでもご参加いただけます。

みどり-NATURE-生きもの調査チーム

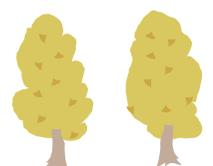
活動日：第2木曜

対話を通して自然から多くのことを学びたい！という思いで活動しているチームです。拡張予定地内の動植物を定期的に観察・記録することで、人間の活動が自然界に及ぼす影響なども考えます。時には専門家をお呼びして自然に関する学びの会も企画します。現在、お仲間大募集中(^^)



青空ヨガ 活動日：第1日曜

椅子に座って行うチェアヨガです。健康づくりにつながるプログラムとして実施中！春には満開の桜の木の下、夏はみどりあふれる木陰、秋には黄金色のイチョウの絨毯の上、と四季折々、季節ごとに居心地が良い空間を探して、自然を感じながら実施しています。初めての方、シニアの方、大歓迎！





公園のウェルネスを考える 活動日:第1日曜

老若男女、ハンディキャップや国籍に関わらず、誰でも安心して訪れることのできる安全な公園にするにはどうすればいいのかを考え、伝える活動をしています。例えば普段から使用しているものやサービスを、日常時だけでなく非常時にも役立てる「フェーズフリー」の考え方など多方面で取り組んでいますので、ご興味がある方はお気軽にお声かけください。

チーム循環

身近な公園を拠点とした地域循環を考えよう

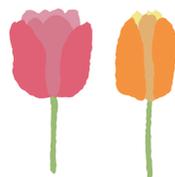
活動日:第1日曜

チーム内の生ごみコンポストを活用したガーデン活動や、集まった皆さんの知恵や技、そしてモノをシェアする取り組みを行っています。小さな循環をぐるぐる回すことで、公園が地域の循環型コミュニティのハブとなることを目指しています。



野毛町ヒストリー 活動日:第1日曜

野毛大塚古墳から等々力溪谷と続く公園とその周辺の国分寺崖線の類まれな地形と、2000年位以上前からの歴史を持つこの土地。その魅力を余すことなく伝えるために、豊かな知識と経験を持つボランティアガイドが中心となって活動しています。



動物ふれあい 活動日:第1日曜

玉川野毛町公園らしさを大切にしながら、動物とのふれあいを区民と楽しむための活動をしています。実際にヤギを呼んだ体験を通じて、今後の公園での動物とのふれあいのあり方と良好な場作りを模索しています。



ご参加方法

① パークらぼメンバーになる

メンバーになると、メールマガジンが届きます。活動の最新情報に触れることができます。

② 活動日に参加する

アクティブDAYなどの活動日の内容は、メールマガジンやウェブサイト等で配信されています。ご興味ある活動に、参加者として参加してみるの自由です！

③ パークらぼ区民の会に参加する

ただ参加するだけでなく、もっと深く関わりたい！という方は、ぜひパークらぼ区民の会にご参加いただき、各らぼプロジェクトの活動メンバーになったり、パークらぼの運営の参加にご協力ください。まずはパークらぼメンバーにご参加後、事務局にご相談ください。

パークらぼメンバーの参加はこちらから





いろいろなことが生まれている公園

活動マップ

一部開園で出現した 拡張予定地のさまざまな風景

拡張予定地が一部開園し、ゾーンごとの景色が現れ、それぞれの特徴が見えてきました。公園を実際に使っていただいているパークらぼ区民の会の皆さんのお気に入りの場所や思い、またアクティブDAYで8つのらぼプロジェクトが実際に活動する場所をマップにしてみました。みなさんもお気に入りの風景を見つけにきてください。

拡張予定地の樹木や花



エノキ



ウメ



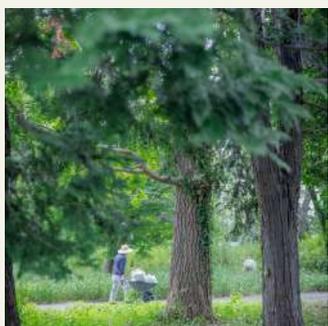
サルスベリ



イチヨウ



サクラ



ヒノキ

ウェルカムガーデン

チーム
循環



拡張予定地の来場者をお迎えする季節の草花をお手入れ

エノキの大木の 木かげ

アクティブ
DAY
本部テント



夏の日差しが強かった今年の夏はエノキの木かげに人が集まりました

野毛大塚古墳

野毛町
ヒストリー



まんなか原っぱから古墳がよく見えます

背の高さよりも 高く茂った草むら

生きもの
調査



拡張予定地の各所で調査活動。草むらの中で生きものや植物の営みを発見

話し合いが進む 木かげ

ウェルネス
キッズ
動物ふれあい
循環など



濃い緑のエリアは、各チームの話し合いスポットとして人気です



＼ 拡張予定地の目印になる場所の呼び名を考えてみました /

玉川野毛町パークらぼ 区民の会 公園運営担当部会



玉川野毛町公園拡張予定地の中心部の一部が整備され、月6回の開放日に自然の中で過ごしたり、様々な活動ができるようになりました。その際、各場所に呼び名があると、待ち合わせのときなどに便利だという声上がり、当部会で試しに命名してみましたので、紹介します。今後、皆様により馴染みやすい呼び名に変えていくことも考えています。



まんなか原っぱ

子どもも犬も走りたくなる
広い草地の広場



仮設舗装広場

古墳に面する仮設の広場



木かげのベンチ

暑い季節に自然と人が
集まる濃い木かげ



森のデッキ

森の中のウッドデッキ空間



動物のいる風景

動物
ふれあい



草地にヤギを呼び、公園での動物とのふれあいについて考えました

季節ごとの気持ちいい場所

青空ヨガ



春の桜、秋のイチヨウなど、青空ヨガは季節ごとに移動して活動しています

みんなで育てるどんぐり

どんぐり
プロジェクト



拡張予定地に落ちているどんぐりからコナラを育てています



第三回

思い描いてきた公園、 実現した公園

区民の想いである「つくりこみすぎない公園」を実現するため、自然で利用にもなじむ、質の高い公園空間を目指し、「樹木の密度」、「地形の勾配」、「大地の状態」の3つの環境要素で活動を支える空間づくりを行っています。

完成予想パース



完成予想パース



完成後の様子



完成後の様子



約4カ月の養生期間を経て芝生や野草がしっかり根付いたので、7月から一般開放されました。広がりがあり気持ちの良い原っぱの空間です。

マウンドの地形や草丈の高い原っぱの空間、既存の大きな樹木などを縫うように配置された園路を歩くと、風景の変化を楽しむことができます。

樹木や原っぱ、舗装や地形の組み合わせが、自然になじんだ風景と、多様な活動を支える場所をつくっています



大きな木の木陰でイベント

芝生の空間に大切に残された大きな既存の木々は、心地の良い木陰の空間を提供してくれます。日差しの強い日に行われるイベントでは、木陰の活動スペースとなっています。



野草の原っぱで虫取り

玉川野毛町公園の拡張予定地には、芝生だけではなく、背の高い野草の原っぱの空間があります。そこは、様々な生きものの住処であり、こどもたちにとっては格好の虫取りスポットです。



お散歩途中にちょっと休憩

大きな既存樹木近くに整備された少し幅の広い園路空間は、移動できるテーブルチェアを持ってくると、気持ちの良い休憩スペースになりました。

活動履歴



4/7(日)11(木) 第32回アクティブDAY

一部開園してから初めてのアクティブ DAY。拠点施設の家具や備品について、各活動や来園者に実際に使って、試して、遊んでもらい、デザインにフィードバックする体験を行いました。



家具を実際に使いながら話し合い

5/5(日)、9(木) 第33回アクティブDAY

各プロジェクトは拡張予定地の中に、お気に入りのスペースを見つけながらそれぞれ活動を行いました。区民のみなさまのご意見をかたちにしてきた公園の基本設計や公園利用や活動の拠点となる施設の設えもパネル展示しました。



コナラの苗を植えました

6/2(日)、13(木) 第34回アクティブDAY

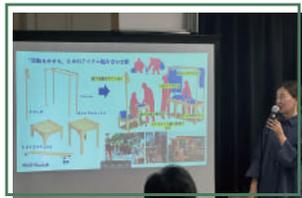
各プロジェクトとも夏のオープンパークに向けての話し合いをしました。キッズチームは「ネイチャービンゴ」も同時開催しました。



拡張予定地内にある植物などを探してビンゴ

6/8(土) 第19回デザインDAY

これまで19回に渡るデザインDAYを開催し、公園のかたち、拠点のかたち、そして、そこで使う什器（家具・道具）についてたくさんの意見交換を行い、かたちについてのデザインDAYは今回が最後となりました。



設計デザイン案の共有をしました

7/7(日) 第8回オープンパーク

各チームの活動報告も兼ね、夏らしい企画を実施しました。被災時の水利用をイメージしてブルーシートを活用したプールもあり、子どもたちがたのしそうに遊んでいました。



待ちに待った草地の広場がいよいよオープン!

7/7(日)、11(木) 第35回アクティブDAY

生きもの調査チームが除草作業等を行いました。今後の活動について、各チームとも引き続き話し合いを行い、よりよい活動を目指しています。



「ヤギのいる風景」について話し合い

7/23(火)~25(木) 夏休みの特別企画 「虫コレクション」

夏休みの特別企画として「虫コレクション」を実施。拡張予定地内の虫たちを子どもたちも真剣に探していました。



拡張予定地はたくさんの昆虫たちに会えます!

8/4(日) 第36回アクティブDAY

9月のオープンパークに向けて、各チームとも話し合いをしました。拡張予定地入口のウェルカムガーデンのお手入れもしました。



日差しを避けて行った青空ヨガ

9/1(日)、12(木) 第37回アクティブDAY

9月のオープンパークに向けて話し合いを行いました。災害時や防災について考える企画のトライアルを実施し、当日の運営方法を確認しました。



ポリ袋でパンケーキを試作中。うまくできるかな?

拠点施設の什器（家具・道具）のワークショップを行いました

令和8年に完成予定の拠点施設について、什器（家具・道具）や備品の検討を進めています。公園利用や活動を支え、柔軟な使い方ができる什器について皆で意見交換するワークショップの実施や、実際に試作品を拡張予定地で使ってみることでデザインや機能の共有などを実施してきました。今後、いただいたアイデアをもとに造作什器（家具・道具）や備品を用意していきます。どうぞご期待ください。



＼どなたでも参加できます／

今後の予定

※開催詳細はホームページをご覧ください。



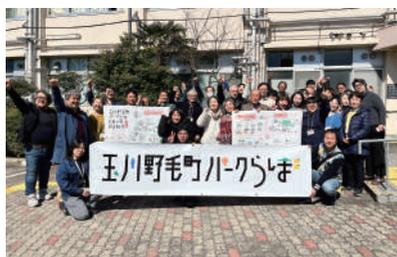
すべて
参加費
無料

アクティブ DAY 毎月第1日曜日と第2木曜日 場所：拡張予定地

アクティブDAYは、「公園の使い方」や「公園のあり方」を考え、実践する場です。8つのらぼプロジェクト（今号のP4,5にて紹介）が活動を積み重ねており、どなたでも、いつからでもご参加いただけます。興味のあるプロジェクトへの参加はもちろん、新たなプロジェクトを立ち上げることもできます!!



パークらぼについて みんなと一緒に使いながらつくる、新しい公園づくり



玉川野毛町公園の位置

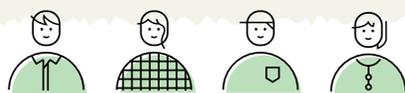
玉川野毛町公園拡張予定地は、宿舎跡地のたくさんの樹木や草地のオープンスペースをいかして「等々力溪谷」や「野毛大塚古墳」とつながるみどりあふれる公園をどう豊かに使うか、みんなで試行錯誤しながら公園を育てていく取り組みです。

100年後も地域に愛される公園を目指して、2021年から活動をスタートした住民協働の「玉川野毛町パークらぼ」では、現地で試験的な取り組みを実際に行いながら、みんなで公園づくりの方針を考えて、2021年5月に基本計画、その後2023年2月に基本設計をとりまとめました。

2023年5月、公園運営への参画準備を進めるための「玉川野毛町パークらぼ推進準備会」を組織し、世田谷区と協働による公園運営への参画について検討を進めました。

2024年3月、玉川野毛町パークらぼ区民の会を発足し、2026年春の開園に向けて、日々試行錯誤しながら、より良い公園になるよう活動に取り組んでいます。

パークらぼメンバー募集



パークらぼでは、常時メールマガジンでの情報を希望者にお届けしています。配信をご希望の方は、玉川野毛町パークらぼ事務局までご一報ください。

パークらぼメンバーへの参加は、右の二次元コードよりお申し込みください。

二次元コード



参加申し込み

【パークらぼに関する問合せ】

玉川野毛町公園拡張事業 協働の公園づくり 玉川野毛町パークらぼ事務局
メール: parklab@nogemachi-parklab.com 電話: 070-3165-7750
(平日 10:00~16:00)

【玉川野毛町公園拡張事業に関する問合せ】

世田谷区みどり 33 推進担当部公園緑地課 建設担当 電話: 03-6432-7910



ホームページ



Instagram

www.nogemachi-parklab.com

Instagram icon: nogemachi_parklab